

一般質問

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質するものです。

クマはぎ被害の防止を。
守ろう針葉樹！

未来
松山篤夫



問 スギやヒノキの針葉樹が「クマはぎ」による被害を受け、立ち枯れした樹木もある。木が傷つくことにより木材の価格が下がり、分収造林の販売益の確保が見通せない状況がある。市の被害状況と対応策は。

答 昨年度の被害は、朝日町において2.73haとなっている。森林所有者の方が長年に亘って大切に育てられた立木であり、今後も被害状況の把握に努める。対策として、国・県の補助事業を活用した立木の樹幹にポリエチレンテープを巻く「テープ巻き」など「クマはぎ」に対して効果的な予防施策の普及を図っていく。

まちづくりのコンセプトの
明確化について

新政たかやま
中村匠郎



問 人口減少・気候危機等、未来が不透明になる中で、私達が今後の社会を生き残るための道標となる旗を立て、あらゆる施策に一貫性を持たせることが必要と考える。私は「木」を核としたまちづくりを進めたいと考えるが、旗の必要性について市の考えは。

答 飛騨高山らしさについては地域・世代等によって異なるが、今後は第九次総合計画、観光ビジョン等を見直していく。そこで議会だけでなく市民とも十分に議論を深めていき、多くの方の意見を聞く中で飛騨高山らしさ、旗となるべきものは何なのかを見つけ出していきたい。

メイド・バイ飛騨高山認証
制度について

新政たかやま
戸田柳平



問 平成30年創設のメイド・バイ飛騨高山認証制度は、コロナ禍の影響もあってか現在まで目立った動きがない。現時点で認証の知名度がほぼ皆無で、事業者からは「デメリットの方が大きい」という声が上がっている。この制度は、市が責任を持てる範疇を超えている。運営自体を外部委託すべきでは。

答 高山の本物を広く周知させることを主眼として昨年度までに33産品を認証している。事業者さんからはご指摘のご意見の他、製品の売上増のための取組みが十分でないという声も聞いている。今後は制度の在り方について検討をしたいと考えている。

荘川町六厩地区の産業廃棄物
最終処分場計画について

新政たかやま
平戸芳文



問 市長は3月定例会の一般質問で「荘川町六厩地区は、産業廃棄物最終処分場の建設地として適地ではない」と答弁されたが、市としてそうしたことを証明する現地調査などを実施する考えはあるか。

答 六厩地区の厳しい自然環境における産廃処分場の管理の問題や生態系への影響、事業における住民の合意形成が困難であること等により適地ではないとお答えした。今後も六厩川の水質調査を実施しつつ、岐阜県環境影響評価条例に基づく事業者による調査に対し、六厩地区の環境保全の見地から必要な意見を県へ提出していく。